

一般社団法人久慈青年会議所

副理事長基本方針・事業計画

人材育成グループ 副理事長 野場 貴行

1967年、互いを磨き高め合うことで地域づくりに貢献するという熱き思いを持った青年達により、産声を上げた久慈青年会議所は本年創立50周年の節目を迎えます。長い歴史の中で最大69名を誇った会員数は減少の一途を辿り、会員減少がもたらす会員の資質低下が組織の課題となっています。我々が目指す「明るい豊かな社会」の実現のためには地域の明るい未来図を共に描ける朋の拡大と資質の向上による組織力の強化が必要です。

まずは、物事の本質を見抜く力を養うために、50周年の今だからこそ原点に立ち返りJCの可能性を学ぶことで、地域に真に必要なとされる団体としての魅力や価値を高めます。そして、地域の未来を創造する経済人としての資質を向上するために、我々と同年代の市民を対象にしたセミナーを開催し、地方消滅時代を逞しく生き抜く青年経済人を育成します。さらに、地域に変化と進化をもたらす新たな人材を増やすために、拡大率30%を必達目標に掲げ会員拡大を強化し、久慈JCの組織力を高めます。また、久慈JCの長年の課題でもある会員数の減少を打開するために、中長期的な指標となる会員拡大ビジョンを策定し、会員拡大に対するメンバーの意識を向上します。そして、組織内外の情報共有によるLOMの資質向上のために、日本本会、地区協議会、ブロック協議会、南部州デザイン会議等に出向するメンバーとの連携強化を図り、時代のニーズに柔軟に対応できるネットワークを構築します。さらに、強く優しい組織へと進化するために、出向するメンバーへの支援体制を確立することで一体感を醸成し、個人及び組織としての価値を高めます。

創立50周年から新時代の幕開けとなる本年、我々JAYCEEが地域の未来を創造する逞しい青年経済人となり、久慈JCが明るい豊かな社会の未来図を描き市民に真に必要なとされる団体となり、市民一人ひとりが夢と明るい展望を描ける地域の創造へと繋がります。

<事業計画>

1. 地方消滅時代を生き抜く青年経済人としての資質の向上
2. 組織力強化のための会員拡大
3. 出向者の支援を通じたLOMの資質向上